

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● 免疫電気泳動(免疫固定法によるM蛋白同定) (依頼コード No.11614)

● 尿中免疫電気泳動(免疫固定法によるベンスジョーンズ蛋白同定)
(依頼コード No.11615)

受託開始日 2018年3月1日(木) 受付分より

血清蛋白分画/電気泳動において、おもに β ~ γ グロブリン領域にM蛋白(Monoclonal Protein)と考えられる特有のピークが検出された際、多発性骨髄腫等の単クローン性免疫グロブリン(M蛋白)血症の診断のために、その免疫グロブリンのクラス(H鎖)とタイプ(L鎖)を同定することが必要です。またM蛋白の一種で、免疫グロブリンのL鎖だけで構成されるフラグメントがあり、ベンスジョーンズ蛋白(BJP)と呼ばれています。このBJPは分子量が小さく、腎糸球体を通過して尿中に排出されますが、大量のBJPは糸球体や尿細管に障害を与えるおそれがあり、その検出は重要です。M蛋白、BJPの検出や性状確認を目的とする検査として、従来より免疫電気泳動法(IEP法)が用いられてきましたが、近年、微量のM蛋白を検出できる免疫固定法による電気泳動法(IFE法)が開発され、普及してきました。海外では特異抗血清によるM蛋白の同定には、IEP法より感度の優れた本法が、標準的分析法として用いられています。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のIEP法を用いた免疫電気泳動 特異抗血清(依頼コード No.00772~00777、04756)とベンスジョーンズ(BJ)蛋白同定-血清・尿(依頼コード No.04509、00069)は2018年3月31日(土)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。(当項目の中止については、弊社Information No.2018-1にてお知らせしています。)

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コードNo.	11614
検査項目名	免疫電気泳動/IFE (免疫固定法によるM蛋白同定)
統一コード	5A135-0000-023-086
検体必要量	血清 0.5mL
容器	B-1→S-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	3～6
検査方法	免疫固定電気泳動法 (IFE法)
基準値	検出せず
単位	なし
報告桁数	なし
報告範囲	検出せず、別紙報告
検査実施料/判断料	210点/144点 (免疫学的検査)
備考	泳動像と(陽性時)M蛋白型を別紙にてご報告いたします。

依頼コードNo.	11615
検査項目名	尿中免疫電気泳動/IFE (免疫固定法によるベンスジョーンズ蛋白同定)
統一コード	5A145-0000-001-086
検体必要量	尿 2.0mL
容器	U-1
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	3～6
検査方法	免疫固定電気泳動法 (IFE法)
基準値	検出せず
単位	なし
報告桁数	なし
報告範囲	検出せず、別紙報告
検査実施料/判断料	209点/144点 (免疫学的検査)
備考	泳動像と(陽性時)M蛋白型を別紙にてご報告いたします。

【検査方法の参考文献】

山田俊幸: 臨床検査 58, 1569-1578, 2014.

新規項目への移行について

新：免疫電気泳動

	依頼 コード No.	検査項目名	検査方法
①	00771	抗ヒト血清使用	IEP法
② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	11614	免疫固定法による M蛋白同定	IFE法
⑩	11615	免疫固定法による ベンスジョーンズ (BJ)蛋白同定	IFE法

現行：免疫電気泳動

	依頼 コード No.	検査項目名	検査方法	
①	00771	抗ヒト血清使用	IEP法	
②	00772	特異抗血清使用		抗IgG(γ 鎖)
③	00773			抗IgA(α 鎖)
④	00774			抗IgM(μ 鎖)
⑤	00775			抗IgD(δ 鎖)
⑥	04756			抗IgE(ϵ 鎖)
⑦	00776			抗L鎖 κ 型
⑧	00777			抗L鎖 λ 型
⑨	04509			血清中ベンスジョーンズ (BJ)蛋白同定
⑩	00069	尿中ベンスジョーンズ (BJ)蛋白同定		

●移行についての主なポイント

- ① : スクリーニング検査として、現行通りIEP法にて継続受託いたします。
- ②～⑧ : 感度の優れた免疫固定法(IFE法)に移行し、特異抗血清を用いた検査を一括して行います。
- ⑩ : 尿中ベンスジョーンズ(BJ)蛋白同定を、IFE法に移行いたします。